

職業実践専門課程の基本情報について

学校名	設置認可年月日	校長名	所在地				
麻生外語観光&製菓専門学校	平成3年1月8日	竹口 伸一郎	〒812-0016 福岡市博多区博多駅南1-14-17 (電話) 092-415-2288				
設置者名	設立認可年月日	代表者名	所在地				
学校法人 麻生塾	昭和26年3月12日	理事長 麻生 健	〒820-0018 福岡県飯塚市芳雄町3-38 (電話) 0948-25-5999				
目的	空港施設での業務に必要とされる専門知識、専門資格、技能を備え、即戦力として通用する人材の育成を目的とする。						
分野	課程名	学科名	専門士	高度専門士			
文化・教養	商業実務専門課程	エアポート科	平成22年文部科学大臣告示第31号				
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼間	2000	1515	0	350	0	165
単位時間							
生徒総定員	生徒実員	専任教員数	兼任教員数	総教員数			
60人	36人	2人	8人	10人			
学期制度	■前期:4月1日～8月31日 ■後期:9月1日～3月31日		成績評価		■成績表: 有 ■成績評価の基準・方法 学期末試験、出席状況、授業態度 確認テスト等の総合評価		
長期休み	■夏季:8月9日～9月11日 ■冬季:12月25日～1月11日 ■学年末:3月10日～4月3日		卒業・進級条件		ア. 指定科目全ての修得 イ. 各学年の出席率90%以上 ウ. 卒業基準検定の取得 エ. 学生としてふさわしい生活態度		
生徒指導	■クラス担任制: 有 ■長期欠席者への指導等の対応 欠席届と理由書(医師の診断書等)提出		課外活動		■課外活動の種類 ボランティア活動 ■サークル活動: 有		
就職等の状況	■主な就職先、業界等 航空業界(主に航空機地上支援業務) ■就職率 ^{※1} : 100% ■卒業者に占める就職者の割合 ^{※2} : 100% ■その他 (平成27年度卒業者に関する平成28年4月1日時点の情報)		主な資格・検定等		IATAティップラ(基礎コース/危険物コース) 陸上特殊無線技士 アクセス国内線3級など		
中途退学の現状	■中途退学者 2名 平成27年5月1日 在学者 43名 (平成27年4月 入学者を含む) 平成28年3月31日 在学者 41名 (平成28年3月 卒業生を含む)		■中退率 4.7%				
	■中途退学の主な理由 進路変更による退学、経済的理由による学業継続困難等						
	■中退防止のための取組 担任による定期ガイダンスや三者面談の実施、定期的な状況報告等						
ホームページ	URL: http://www.asojuku.ac.jp/aftc/						

※1「大学・短期大学・高等専門学校及び専修学校卒業予定者の就職(内定)状況調査」の定義による。

①「就職率」については、就職希望者に占める就職者の割合をいい、調査時点における就職者数を就職希望者で除したものとする。

②「就職率」における「就職者」とは、正規の職員(1年以上の非正規の職員として就職した者を含む)として最終的に就職した者(企業等から採用通知などが出された者)をいう。

③「就職率」における「就職希望者」とは、卒業年度中に就職活動を行い、大学等卒業後速やかに就職することを希望する者をいい、卒業後の進路として「進学」「自営業」「家事手伝い」「留年」「資格取得」などを希望する者は含まない。

(「就職(内定)状況調査」における調査対象の抽出のための母集団となる学生等は、卒業年次に在籍している学生等としている。ただし、卒業の見込みのない者、休学中の者、留学生、聴講生、科目等履修生、研究生及び夜間部、医学科、歯学科、獣医学科、大学院、専攻科、別科の学生は除いている。)

※2「学校基本調査」の定義による。

全卒業者数のうち就職者総数の占める割合をいう。

「就職」とは給料、賃金、報酬その他経常的な収入を得る仕事に就くことをいう。自家・自営業に就いた者は含めるが、家事手伝い、臨時的な仕事に就いた者は就職者とはしない(就職したが就職先が不明の者は就職者として扱う。)

1. 教育課程の編成

(教育課程の編成における企業等との連携に関する基本方針)

企業連携により実践的かつ専門的な職業教育を実施することで人材養成課程の質の保証・向上を基本方針とする。授業科目開設においては、卒業生に対する「お客様アンケート」結果と教育課程編成委員との意見交換により、企業視点を軸としてグローバル社会において必要とされる知識・技能の修得を目指す。

(教育課程編成委員会等の全委員の名簿)

平成28年5月1日現在

名 前	所 属
増田 義孝	航空貨物研修センター 代表
荻原 将章	ANA福岡空港株式会社 ラインハンドリング3課 マネージャー
三笥 秀一郎	麻生外語観光&製菓専門学校 副主任
原 直弘	麻生外語観光&製菓専門学校 エアポート科 専任教員
瀧口 恵子	麻生外語観光&製菓専門学校 エアポート科 専任教員

(開催日時)

平成27年度 第1回 平成27年6月25日 15:30～17:30

平成27年度 第2回 平成27年10月22日 15:30～17:30

平成28年度 第1回 平成28年6月23日 16:30～17:30

平成28年度 第2回 平成28年10月20日 15:30～17:30

2. 主な実習・演習等

(実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針)

実践の機会である空港実習を設定することで職業像と必要適性を明確にし、各自の具体的なキャリアプランを構築する。実務経験、指導・評価を受けることにより、学内での学習との相乗効果を図る。

科 目 名	科 目 概 要	連 携 企 業 等
企業インターンシップ	企業連携により実施。空港に於いて2ヶ月間のインターンシップ参加を通し、航空業界において必要な知識や技術の修得。	平野運輸株式会社 ANA福岡空港株式会社 株式会社エーエスオー 福岡ティー・エイ・エス

3. 教員の研修等

(教員の研修等の基本方針)

業界就職に求められる人材像を分析し、カリキュラムやシラバスに反映させ、更に即戦力となる人材の育成を図るため、「教職員研修規定」に則り、教職員の能力及び資質等も向上を目的とした研修を継続的に実施することを基本方針とする。定期的な企業からのヒアリングや航空各社の企業説明会に参加し情報収集することにより、航空業界の現状を常に把握し企業視点を軸とした教育サービスの提供を目指す。

4. 学校関係者評価

(学校関係者評価委員会の全委員の名簿)

平成28年5月1日現在

名 前	所 属
村山 聖子	平成28年度入学ブライダル・ウエディング科1年生 保護者
堀部 豊和	平成23年度 卒業生
久永 妙美	平成21年度 卒業生
浦川 美代子	博多駅南1丁目1区 自治会長
甲斐 直樹	福岡県立直方高等学校
増田 義孝	航空貨物研修センター 代表
山方 浩	公益財団法人 福岡観光コンベンションビューロー 事務局長
松坂 寛則	九州マレーシア協会 事務局長
加藤 博志	九州B.M.C.会長
鶴田 武彦	福岡県洋菓子協会 専務理事・事務局長
長 加奈子	福岡大学 准教授

芳野 香織	ANA福岡空港株式会社 旅客サービス部 国際旅客サービス課マネージャー
荻原 将章	ANA福岡空港株式会社 ラインハンドリング3課マネージャー
平野 孝文	日本通運株式会社 福岡支店九州グローバルロジスティクス企画 次長
木村 弘	トップスタッフ株式会社 九州支店 主任
金 大義	株式会社韓進インターナショナルジャパン 福岡空港事業部 事業部長
森山 光	株式会社アルク教育社 福岡支店 支店長
能城 めぐみ	ヒルトン福岡シーホーク 人事部 次長-人材開発担当
大屋 寿	株式会社ニューオータニ九州 執行役員人事総務部長
江口 克司	株式会社ニューオータニ九州 ブライダル担当部長
古賀 三和子	株式会社アルカディア 人事課長
宮川 正和	パティスリーポッシュ オーナーシェフ
柳原 久一郎	株式会社ブライトウェイ
船橋 修	ロイヤルホールディング株式会社経営企画部ロイヤルグループ採用・教育担当課長
樋口 耕平	株式会社JTB九州 企画総務部

(学校関係者評価結果の公表方法)

URL: http://www.asojuku.ac.jp/wp-content/uploads/2015/10/hyoka_aftc.pdf

5. 情報提供

(情報提供の方法)

URL: <http://www.asojuku.ac.jp/> (麻生塾ホームページ)

<http://www.asojuku.ac.jp/aftc/> (麻生外語観光&製菓専門学校ホームページ)

授業科目等の概要

(商業実務専門課程 エアポート科) 平成28年度															
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業 時 数	単 位 数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
○			IATA [®] ^イ ^ア ^ド ^マ 基礎	国際航空貨物取扱士（基礎コース）PAPER I 対策	1前	45	3	○			○			○	
○			IATA [®] ^イ ^ア ^ド ^マ 応用	国際航空貨物取扱士（基礎コース）PAPER I 対策	1前	60	4	○			○			○	
○			IATA [®] ^イ ^ア ^ド ^マ 試験対策	国際航空貨物取扱士（基礎コース）受験のための直前対策	1後	15	1	○			○			○	
○			IATA [®] ^イ ^ア ^ド ^マ 危険物	IATA [®] ^イ ^ア ^ド ^マ （危険物コース）対策授業	1後	90	6	○			○			○	
○			航空概論A	航空業界の様々な職種を説明し、各々の部署が協力し業務が完結していることを理解させる。	1前	30	2	○			○			○	
○			航空概論B	航空業界の様々な職種を説明し、各々の部署が協力し業務が完結していることを理解させる。	1後	30	2	○			○			○	
○			陸上特殊無線	地上支援業務に必要な資格である第三級陸上特殊無線技士を取得させるため、受験に必要な知識を修得する。	1後	45	3	○			○			○	
○			実用英語	英検準2級・2級対策	1前	60	4	○			○			○	
○			TOEIC	航空業界で受験が義務付けられつつあるTOEICの高スコア獲得を目指す。	1後	30	2	○			○			○	
○			国内地理	国内主要都市・空港をメインに地理や歴史の角度から学ぶ	1前	30	2	○			○			○	
○			空港実務 I	航空機輸送に伴い、暗算教育並びに、危険物取扱い等に関する教育を実施。国内空港の3レター、航空会社3レター、2レター、貨物品目コード、DGRコード、航空機の種類他	1前	30	2	○			○			○	

		○	国内研修旅行	大規模空港を視察し機側における実務を見学することにより、就職目標を見定める。	1 後	30	2				○		○	○					
○			一般教養 I A	国語、数学、社会（時事）、英語を総合的に学習し、入社試験に対応できる基礎力の強化を図る。	1 前	30	2	○				○		○					
○			一般教養 I B	国語、数学、社会（時事）、英語を総合的に学習し、入社試験に対応できる基礎力の強化を図る。	1 後	30	2	○				○		○					
○			コミュニケーション技法	人前で話す、人の話を聞く、人と会話するといったコミュニケーションの効果的な方法を実戦形式で学び身につける。	1 後	30	2	○				○						○	
○			ビジネス実務 A	実社会で必要とされるビジネスマナーを修得する	1 前	30	2	○				○						○	
○			ビジネス実務 B	実社会で必要とされるビジネスマナーを修得する	I 後	30	2	○				○						○	
○			Excel	グラフや表作成方法を学び、Excel検定3級の取得を目指す	1 後	45	3					○	○					○	
○			Word	ビジネス文書作成方法を学び、Word検定3級の取得を目指す	1 前	60	4					○	○					○	
○			ペン字	履歴書作成からビジネス文書まで、ペン字の基礎を修得する	1 後	30	2					○	○					○	
○			GCB I	感謝と思いやりの教育	1 前	15	1	○					○					○	
○			企業インターンシップ	実施に空港で業務に携り知識や技能を身につけ、社会人としての意識の定着を図る	1 後	320	6					○		○				○	○
○			S P I I	入社試験（SPI）対策授業	1 後	30	2	○					○					○	
○			社会教養 I A	就職に対しての意識付け	1 前	15	1	○					○					○	
○			社会教養 I B	身だしなみや履歴書作成の就職試験対策	1 後	60	4	○					○					○	

○		エアクラフト	航空機に関する基本を学ぶ	1 後	15	1	○				○		○		
○		空港実務ⅡA	航空機輸送に伴い、安全教育並びに危険物取扱い等に関する教育を実施。安全を堅持するためには何が必要かを理解し修得する	2 前	30	2	○				○		○		
○		空港実務ⅡB	航空機輸送に伴い、安全教育並びに危険物取扱い等に関する教育を実施。安全を堅持するためには何が必要かを理解し修得する	2 後	30	2	○				○		○		
○		一般教養ⅡA	国語、数学、社会（時事）、英語を総合的に学習し、入社試験に対応できる応用力の強化を図る。	2 前	30	2	○				○		○		
○		一般教養ⅡB	国語、数学、社会（時事）、英語を総合的に学習し、入社試験に対応できる応用力の強化を図る。	2 後	15	1	○				○		○		
○		社会教養ⅡA	就職に向けての準備をはじめ、社会人として必要な常識やマナーを修得する	2 前	60	4	○				○		○		
○		社会教養ⅡB	就職に向けての準備をはじめ、社会人として必要な常識やマナーを修得する	2 後	30	2	○				○		○		
○		航空品質管理A	安全運航に関する知識の修得	2 前	30	2	○				○		○		
○		航空品質管理B	安全運航に関する知識の修得	2 後	30	2	○				○		○		
○		フィジカルトレーニング	体力の維持と増進とともに、行動力と協調性を養う	2 前	30	2					○		○	○	
○		海外地理	海外主要都市と空港をメインに地理や歴史の角度から学ぶ	2 前	30	2	○				○		○		
○		業界総合演習	安全品質・定時制の向上、コスト意識等について学ぶ	2 後	60	4	○				○		○		
○		卒業研究	2年間で学んだ航空業界に於ける知識を基に、それぞれのテーマに沿った研究を行い、理解を深める	2 後	60	4	○				○		○		
○		SPIⅡ	入社試験（SPI）対策	2 前	60	4	○				○		○		

○		ビジネスマ ナー演習A	社会人基礎力の要請	2 前	30	2	○				○			○
○		ビジネスマ ナー演習B	社会人基礎力の要請	2 後	30	2	○				○			○
○		GCB II	志の教育	2 前	15	1	○				○			○
○		WINDOWS演習	パワーポイント作成の基礎を学ぶ	2 後	30	2	○				○			○
○		AMADEUS	航空券の予約・発券の技能を身につけ、資 格取得を目指す。	2 前	45	3	○				○			○
○		総合英語A	実用英語検定準2級と2級の取得を目指す	2 前	60	4	○				○			○
○		総合英語B	実用英語検定準2級と2級の取得を目指す	2 後	60	4	○				○			○
○		サービス介助	サービス介助の知識を実践を交えながら学 ぶ	2 後	30	2	○				○			○
合計			46科目	2000単位時間(118 単位)										

卒業要件及び履修方法	授業期間等	
各学年における当該学科の指定科目をすべて履修・修得していること。	1学年の学期区分	2期
	1学期の授業期間	15週

(留意事項)

- 一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合については、主たる方法について○を付し、その他の方法について△を付すこと。
- 企業等との連携については、実施要項の3(3)の要件に該当する授業科目について○を付すこと。